

石狩市食育推進計画 (H29～R3)

～ 子どもの未来応援！ いしかりっ子食育計画 ～

施策の評価 [令和 3 年度]

令和 3 年 8 月
石狩市企画経済部農政課

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

1．食習慣－食を通じて心と体を健康に－

(1)バランスのとれた食事の習得

(2)規則正しい食生活の実践

(3)生活習慣病の予防

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
1	妊婦栄養相談	母子手帳交付時に妊婦へ栄養相談を行い、子どもが生まれる前から食育への関心を高める。	妊婦	保健推進課	H29 栄養相談数78人（全体母子手帳交付者の25.8%） H30 栄養相談数78人（全体母子手帳交付者の25.8%） R元 栄養相談数67人（全体母子手帳交付者の22.8%） R2 栄養相談数48人（全体母子手帳交付者の18.4%） 主に栄養バランスや、妊娠期に必要な栄養などの相談を実施した。	妊娠をきっかけに食事内容を見直すきっかけとなっている。パートナーの食事の欠食など多いことも課題となっている。	A	継続
2	離乳食教室	離乳食についての講話や試食により、進め方や調理法を理解し、不安解消に繋げる。 「はじめての離乳食教室」、「ステップアップ離乳食教室」を実施する。	子ども保護者	保健推進課	「はじめての離乳食教室」 H29 年4回実施。参加者57組（120人） H30 年4回実施。参加者61組（122人） R元 年4回実施。参加者49組（101人） R2 年2回実施。参加者9組 「ステップアップ離乳食教室」 H29 年4回実施。参加者35組（70人） H30 年4回実施。参加者25組（50人） R元 年4回実施。参加者29組（58人） R2 年1回実施。参加者3組 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため5回中止。開催時には、人数制限（5組まで）、試食なしで実施。	試食やフードモデルなどにより、離乳食の進め方の実際を体験して離乳食作りの不安解消が図られた。	A	継続
3	乳幼児健診時の栄養相談	乳幼児健診時に発達、発育に応じて、乳幼児の食事について知識の普及、悩みや不安を解消するため相談会を実施する。	子ども保護者	保健推進課	乳幼児健診（4ヶ月児、10ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児）時に栄養相談を実施。 H29 相談数353人 H30 相談数353人 R元 相談数305人 R2 相談数357人	離乳食や幼児食への悩みや不安の解消が図られた。	A	継続
4	栄養ミニ講話・調理実習	未就園児の保護者を対象に地域の子育て支援センター等で食べることの大切さや栄養についてのミニ講座、調理実習を実施する。	子ども保護者	保健推進課	H29 子育て支援センターで「乳幼児の食事」についての講話を実施。 H30 子育て支援センター等で「乳幼児の食事」についての講話を実施。（4回） R元 子育て支援センター等で「乳幼児の食事」についての講話を実施。（4回） R2 子育て支援センター等で「乳幼児の食事」についての講話を実施。（1回）	離乳食や幼児食への悩みや不安解消する場となっている。	A	継続

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

1. 食習慣―食を通じて心と体を健康に―

- (1)バランスのとれた食事の習得
- (2)規則正しい食生活の実践
- (3)生活習慣病の予防

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
5	親子料理教室	親子で料理することで食への関心を高めるため、就学前の子ども（年長・年中）と保護者を対象に料理教室を実施する。	子ども保護者	保健推進課	H29 ２月２４日（土）に実施。参加者１２組（２６名） H30 ３月２日（土）に実施、参加者9組（19名） R元 ３月２日（土）に実施、参加者10組（23名） R2 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止 ※平成29年度から対象者を就学前から小学校低学年まで拡大	普段、家庭では調理体験をしていない親子が多く、今後家庭でも調理をさせてみたいという声が多く聞かれ、食への関心を高めるきっかけとなった。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
6	キッズシェフ講座	食の知識や調理を体験する機会をつくるため小学生を対象に講座を実施する。	子ども	保健推進課	「キッズキッチン講座」 児童クラブ２か所で食育講話と簡単な調理実習を実施。 H29 H30年度実施に向けて調整。 H30 夏休みと冬休みに計4回実施 参加者 延84名 R元 参加者49名 「キッズシェフ講座」 食育講話と地元食材を使用した調理実習を実施。 R元 全２回28名 R2 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	家庭での調理経験がない児童も多く、調理することを体験し、つくる楽しさを知り、食への関心を高める良い機会となっていた。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
7	その他の栄養相談	子どもの発育段階に応じて、電話、来所など栄養相談の希望があれば随時実施する。 希望者へは訪問する。	子ども保護者	保健推進課	電話相談や訪問して栄養相談を実施。	子どもの食事についての悩み解消となっている。	A	継続
8	保育園・幼稚園等での食育	子どもの成長発達に応じて、レシピの配布、試食会、給食展示、三色食品群の掲示など食育を行う。	子ども保護者	子ども家庭課 保育園・幼稚園等	毎月１回「食育便り」（子ども家庭課栄養士作成）を配布し、各園で活用している。	各園での献立作成にあたっての参考となり、負担軽減にもつながっている。	A	継続
9	学校での食育	食事の大切さを学び、食事の量やバランスを子ども自身が理解できるよう食に関する指導や講演会を実施する。	子ども教職員	学校給食センター	市内小中学校において食に関する指導を実施 H29 134回実施 H30 168回実施 R元 167回実施 R2 130回実施 地元生産者による講話を実施 R元 ２回実施	食の指導を実施する栄養教諭が市内で4名(石狩3名、厚田1名)しか配置されておらず、またコロナ禍で学校現場における指導実施回数を増やすことが難しい中であっても、H29年度と同水準の指導回数を確保することができた。	A	継続

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和 2 年度）

1. 食習慣－食を通じて心と体を健康に－

- (1)バランスのとれた食事の習得
- (2)規則正しい食生活の実践
- (3)生活習慣病の予防

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和 2 年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
10	スポーツ・食育講座	小学生と保護者・指導者を対象に食事と運動の大切さを学ぶ講座等を実施する。	子ども保護者指導者	スポーツ健康課	H29 「食事と運動の大切さを学ぼう」と題し、食育講座及びスポーツリズムトレーニング体験を実施。 【時期】平成30年 2月24日（土） 【場所】石狩市B & G海洋センター 【参加者】石狩市内少年団に所属の4・5・6年生の児童及びその保護者や指導者 170名 【講師】石狩市総合型地域スポーツクラブアクト H30 「ジュニア時代に必要な食事と栄養は？」と題し、食育講座及びスポーツおにごっこを実施 【時期】平成31年 2月23日（土） 【場所】石狩市B & G海洋センター 【参加者】市内小学校に通う児童59名及びその保護者32名 【講師】石狩市総合型地域スポーツクラブアクト R元 ・「雪印メグミルクスポーツ食育体験授業」を実施 ①令和元年9月18日（水）花川小学校5年生 ②令和元年9月19日（木）双葉小学校5年生 ③令和元年9月19日（木）生振小学校5・6年生 参加者：121人（①51人、②50人、③20人） ・「令和元年度 スポーツ・食育講座～食事と運動の大切さを学ぼう～」を実施 令和2年2月22日（土） 参加者：76人（小学生58人、保護者18人） R2 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	食事と運動の大切さを学ぶ場となり、食育の向上が図られた。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
11	ソフトボールアスリート育成事業	選手のパフォーマンス向上のために中学生以上および保護者・指導者を対象にスポーツのための栄養講座を実施する。	子ども保護者指導者	スポーツ健康課	H29.30 実施なし R元 「2020 ソフトボール選手強化講習会inいしかり」を実施 令和2年1月11日（土）参加者：23人（ソフトボール少年団員9人、中学ソフトボール部員14名人） R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	日本女子ソフトボールリーグの現役選手からの指導により、市内ジュニア選手がトップレベルのプレーを体感し、さらなる技術の向上が図られた。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和 2 年度）

1. 食習慣－食を通じて心と体を健康に－				取り組みの評価				
(1)バランスのとれた食事の習得				S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要				
(2)規則正しい食生活の実践								
(3)生活習慣病の予防								
No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和 2 年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
12	放課後すこやかスポーツ教室	放課後、小学生を対象に体育館で体力向上のための取り組みと食育指導を実施する。	子ども	社会教育課 保健推進課 民間団体	H29 市内 5 小学校において食生活アンケート、食生活診断、栄養指導の実施。 H30 市内 5 小学校において栄養指導を実施（カルシウムについて） 109人（紅南小学校 12人、緑苑台小学校 30人 南線小学校 22人、双葉小学校 22人、花川南小学校 23人） R元 市内 5 小学校において栄養指導を実施（食べ物の働きについて） 106人（紅南小学校 15人、緑苑台小学校 22人 南線小学校 42人、双葉小学校 13人、花川南小学校 14人）	H29 児童が自分の食事を見直すきっかけとなったが、バランスのとれた食事やお菓子、ジュース類の指導も必要。 H30 学校での食育授業によりカルシウムについて理解している児童が多かった。今後のテーマについては学校での食育授業とのつながりなど検討が必要。 R元 「食べ物の働きについて知ろう」をテーマに給食センター栄養士が講話を行なった。身近な食材について話に参加した子どもたちも大変興味を持っていた。	A	食育授業を担う人材が不足し、事業継続が困難なため、令和 2 年度以降は実施しない。

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

2. 食文化―食を囲んで心豊かに―

取り組みの評価

- (1)郷土料理や伝統料理の継承
- (2)食を通じたコミュニケーションの充実
- (3)食に対する感謝の心の育成
- S 期待された以上の成果を達成
- A 期待された成果・効果を達成
- B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
1	食育授業	P T Aや町内会などを対象に、大人向けの食育授業を実施する。	保護者	学校給食センター	給食センターの施設紹介、食育講話、給食の試食をセットにした講座を実施。 H29・団体向け講座11回、参加者174名 ・個人向け講座8回、参加者83名 H30・団体向け講座8回、参加者111名 ・個人向け講座6回、参加者42名 R元・団体向け講座4回、参加者91名 ・個人向け講座6回、参加者35名 R２・団体向け講座2回、参加者17名 ・個人向け講座3回、参加者10名	新たな参加者層の獲得に向けて、講座内容や周知方法の多様化につとめているが、コロナ禍による開催の制限や中止により、改善による成果は見えていない。	A	今後は月1回実施予定。 2回目以降の参加者が楽しめるように、食育講話のテーマを毎回変える。
2	「いしかりウィーク」の実施	通常よりも多くの地元食材を利用した学校給食を提供する「いしかりウィーク」を実施する。	子ども	学校給食センター	・ H29年9月20日に市内小中学校で実施。 石狩鍋、ご飯、望来豚のピリ辛揚げ、ブロッコリーのからしあえの４品に地元産食材を使用。 ・ H30年9月10日～14日に市内小中学校で実施。 給食版イシカリ、揚げかぼちゃ、望来豚ぶたまん、ゆでとうもろこし、ごはん、ミルクみそ汁、ミネストローネ、ブロッコリーソテー、石狩鍋、ひじきの炒め煮の計10品に地元産食材を使用。 ・ R1年9月9日～13日に市内小中学校で実施。 なめこ汁、昆布＆望来豚炒め、石狩皿うどん、厚田のあんまん、厚田産しいたけのガリバタチキン、石狩野菜たっぷりポトフ、冷やしトマトスパゲティ、石狩鍋の計8品に地元産食材を使用。 ・ R2年9月14日～18日に市内小中学校で実施。白米、たこ団子汁、かぼちゃの天ぷら、望来豚とごぼうのごまみそ煮、ピリ辛みそラーメン、望来豚まん、みそだれ肉団子、浜益牛そぼろ丼、きのこのみそ汁、ミニトマト、ソフトフランス丸パン、キャロットポタージュ、トマトソースハンバーグ、りんごドレッシングサラダ、石狩鍋、石狩野菜さつま揚げ、メロン	児童及び生徒の地元食材への関心を高め、食を通じた文化と歴史に触れて郷土愛を深めることができた。	A	継続

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

2. 食文化―食を囲んで心豊かに―

取り組みの評価

- (1)郷土料理や伝統料理の継承
- (2)食を通じたコミュニケーションの充実
- (3)食に対する感謝の心の育成
- S 期待された以上の成果を達成
- A 期待された成果・効果を達成
- B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
3	保育園・幼稚園での食育	食育関連図書の貸し出し、地域との交流会、季節行事等を実施する。	子ども保護者	子ども家庭課 保育園・幼稚園等	H29 地域子育て事業（ぺんぎんくらぶ）と厚田支所市民福祉課合同で子育て教室「焼き芋会」を実施。 R元・園児と保育士による野菜づくりを行い、収穫、調理実習（カレーライスづくり・焼き芋）を実施。 ・地域子育て事業のありんこくらぶで数回にわたり調理実習を行い、地元の食材を使いボランティアの指導で調理実習を実施。 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	・保護者がリフレッシュできる場を設けることができた。 ・畑づくりから始まり収穫・調理までの一連を携わることにより食材への関心や食べることへの大切さを育むことができた。 ・食を通じて保護者間の親睦を図り、また悩み事や子育ての相談等も行っており、子育てについての意欲を高めることに繋がった。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催する。
4	調理実演等食育イベント	石狩鍋復活プロジェクト「あき味の会」が石狩鍋の調理を実演する。 鮭の解体、調理指導、試食の実施など	子ども保護者	北海道子ども連絡協議会 町内会	H29 石狩市スポーツ推進員協議会主催のカローリング大会(11月開催)にて、石狩鍋をふるまった。 R元 小学校へ募集するも希望なく、実施せず。 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	評価 ・郷土料理を次世代に継承するための機会（イベント）となった。 課題 ・継続した取り組みにより、浸透を図る必要がある。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
5	子どもの居場所開設支援	子どもたちに共食の機会を提供するような地域の取り組みを支援する。	子ども保護者	子ども政策課 市民団体・NPO	「子どもの居場所づくり推進事業交付金」を交付し、「食事の調理提供を行う子どもの居場所づくり」を行う団体を支援。子ども食堂が市内で4箇所開設されている。	評価 ・参加者と支援者、参加者同士のつながりが増え、地域の居場所としての機能を果たしている。	A	引き続き、子どもの居場所づくりを行う団体を支援する。
6	観光を切り口とした石狩PRAIDEの醸成	子どもたちを中心に総合学習活動やイベント等の開催によりサケの歴史・文化を伝承する。 石狩鍋の調理体験など生活に身近な食などとおして、サケに触れる機会を拡充させる。	子ども	商工労働観光課	H29 青年会議所との連携（ふるさと探検隊）し、市内小学生（25名参加）対象に鮭解体ショーやサケ育研修を実施。 H30 市内小学校等にいしかりガイドボランティアの会が鮭の歴史等をテーマとした観光ガイドを実施 H29～R2 小学生高学年対象向けガイド本（いしかりこどもたんけんBOOK）を市内小学校等に配布。	評価 ・サケの歴史・文化に関するパンフレットの配布や出前講座等を通じ、子どもを中心とした多世代の市民に対して「サケ」に触れる機会を創出することができた。 課題 ・継続した取組により、更なるサケの歴史・文化の浸透を図る必要がある。	A	・小学生高学年対象向けガイド本（いしかりこどもたんけんBOOK）を、市内小学校等に配布する。 ・石狩さけまつりへの子ども参加企画の実施。

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和 2 年度）

2. 食文化ー食を囲んで心豊かにー
- 取り組みの評価
- (1)郷土料理や伝統料理の継承
- S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要
- (2)食を通じたコミュニケーションの充実
- (3)食に対する感謝の心の育成

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和 2 年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
7	「食育月間」を活用した広報啓発活動	毎年6月に定められている「食育月間」に図書館で関連本の特設コーナーを設けるなど広報啓発を実施する。	子ども保護者	保健推進課	H29 開催期間 6/16（金）～23（金） 図書館で食育パネル展を実施し、食育に関するリーフレットを配布。 H30 開催期間 6/26（火）～29（金） 図書館で食育に関する特集コーナーを設置。食育に関する本を展示し、リーフレットを配布。 R元 開催期間 6/25（火）～28（金） 図書館で食育に関する特集コーナーを設置。食育に関する本を展示し、リーフレットを配布。 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	食育の普及啓発の場となっており、レシピは好評だった。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

3. 食環境―食を学んで理解を深める―

取り組みの評価

(1)食育体験活動の推進

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

(2)食品ロスの削減

(3)地産地消の推進

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
1	幼稚園PTA 連合会食育 バスツアー	収穫体験バスツアーを実施する。	子ども 保護者	子ども家庭 課	H29、30・園児とその家族が参加し、じゃがいもやミニトマトを収穫 ・管理栄養士による食育講座や読み聞かせを実施。 ・地元産野菜を使ったカレーを昼食とし、昼食後はトラクターに乗車して写真撮影、塗り絵、ビンゴゲームを実施。 R元・JAいしかりと地元農家の協力のもと、園児と家族が参加し、じゃがいもやミニトマト収穫を体験。 ・管理栄養士による食育、紙芝居を実施。 ・昼食に地元産野菜のカレーを喫食。 ・野菜クイズやトラクター乗車などの体験を実施。 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	課題 事業を構成する園の減少という課題を抱えている。 評価 定員を超える応募があるほど好評であり、幼稚園PTA連合会の活動の柱となる事業である。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
2	グリーン ツーリズム バスツアー	市内の観光農園等を巡回するバスツアーを実施する。 市民が農作業や農業に対する理解を深める機会を提供する。	子ども 市民	農政課	H29.8.3 「親子で行く石狩わんぱくツアー」を実施。 内容 自分で収穫した農産物を使ってピザづくり、さくらんぼ狩り、磯かに釣り 参加人数 25名 H30.6.23 「親子で行くいしかりいちご狩りツアー」を実施 内容 いちご収穫体験、道の駅見学 参加人数 34名 R元.8.2 「厚田あじわい親子バスツアー」を実施 内容 収穫体験、道 の駅見学 参加人数 11名 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	親子を対象に実施するなど、都市農村交流に加え食育を推進に寄与できた。	A	新型コロナの感染状況をみて開催を検討
3	保育園・幼稚園等での 食育	野菜の栽培、調理実習、餅つき、焼きも会、菜園作り等を実施する。	子ども 保護者	保育園・幼稚園等	H29 ①園児と保育士共同でメニューを決め調理実習を実施。 ②園児と保育士共同で畑作りから野菜の栽培・収穫を行い、調理と試食を実施。③園児、保護者と餅つきを体験し、試食。 H30 ①園児と保育士共同でメニューを決め調理実習を実施。 ②園児と保育士共同で畑作りから野菜の栽培・収穫を行い、調理と試食を実施。③園児、保護者と餅つきを体験し、試食。 R元 ①園児が栽培した野菜で、お誕生会のカレーを作った。 ②市の保健師と一緒に調理実習を実施。③地元のもち米を使い、市の担当職員ともちつきを体験し、試食。 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	栽培は年長児のみだが、他の園児たちにも野菜の成長を観察させることで、次年度への意欲につなげることができた。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

3. 食環境―食を学んで理解を深める―
- 取り組みの評価
- (1)食育体験活動の推進
- S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要
- (2)食品ロスの削減
- (3)地産地消の推進

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
4	学校における食に関する指導に係る情報提供	石狩にある人材、食材等の情報を整理し、学校等へ提供します。	小中学校	学校教育課	学校からの情報提供依頼が無かったため実績なし。	課題・評価 学校にて計画的に実施するため、情報提供を求めることが少ない。	B	各学校からの情報提供の依頼があれば情報を整理し提供。
5	関係団体等の協力による農漁業への理解を深める機会提供	農業総合支援センターの試験圃場や農協・漁協などにおいて農業体験受入や農漁業に関する出前講座等を実施する。	市民 子ども	農業総合支援センター 関係団体	農業総合支援センター試験圃場やＪＡいしかりベジタブル・ファクトリーで、市民の体験等受入れ体制を構築。	課題 人員などの体制の問題もあり主催講座等の開催が難しく、要望に応じた対応と工夫が必要。 評価 農漁業への理解を深める機会提供への体制構築ができた。	A	対応可能な範囲において実施。
6	家庭における食品ロス削減に係る情報提供	市の広報誌やイベントなどを通じて家庭での食品ロス削減を啓発する。	市民	農政課	啓発チラシをHPや広報、市役所内に掲載し、市民、企業などに啓発を図った。	評価 食品ロス削減に係る情報提供が図られた。 課題 必要性は理解されているものの、実践に繋がりがづらく、キャンペーンなどポイントを絞った取り組みが必要。	A	コロナ禍の状況を踏まえ、家庭等での食べきり実践を促すため、３０・１０運動を中心に啓発を図る
7	石狩浜学習	石狩浜の環境学習にともない、自生するハマナスについて学ぶとともに、ハマナスの実を使用したジャム作りを実施する。	小中学生	石狩浜海浜植物保護センター	H29 学校からの要望がなかったため未実施 H30 石狩小学校５年生（１２名）ジャム作り R元 石狩小学校３年生（１９名）ジャムづくり 石狩小学校５年生（１１名）ジャムづくり 石狩中学校１年生（２３名）ジャムづくり R2 新型コロナウイルス感染拡大のため各教育機関が調理自習を中止したため依頼がなかった	評価 ジャム作り体験を通じて、身近な海浜植物に触れて学ぶ環境学習の機会の提供が図られた。 課題 少しタイミングがずれてしまうと、食べられる実がなくなってしまうのでかなり参加が限定されてしまう。自分たちで収穫して、ジャム作りとなると、会場の保護センターの収容人数的に制限が出てしまう。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和 2 年度）

3. 食環境―食を学んで理解を深める―
- （1）食育体験活動の推進
- （2）食品ロスの削減
- （3）地産地消の推進
- 取り組みの評価
- S 期待された以上の成果を達成
- A 期待された成果・効果を達成
- B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和 2 年度 of 取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
8	消費生活研修会	市民が賢い消費者となるために食品ロスなど、食にまつわる知識を習得する研修会を開催する。	市民	消費生活センター	R元 「食からみた日々の備えと暮らし方」と題し、研修会を実施 【時期】 令和2年 2月18日（火） 【場所】 石狩市総合保健福祉センターりんくる 【参加者】 市民27名 【講師】 北海道教育大学札幌校 教授 佐々木 貴子 氏 非常食のアルファ米と高密度ポリエチレン袋で炊いたお米を食べ比べしたほか、日常生活の延長から始める災害への備えを学んだ R2 「楽しく食品ロスを減らそう！」と題し、研修会を実施 【時期】 令和2年10月21日（水） 【場所】 石狩市総合保健福祉センターりんくる 【参加者】 市民14名 【講師】 食育教室good food,good life 代表 サルベージプロデューサー 和田 順子氏 新型コロナウイルス感染拡大のため食材カードを使った頭の体操をしながら、持て余しがちな食材を生かすコツを学んだ	市民の食に関する知識の習得に寄与した。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

その他生涯を通じた食育の取り組み等

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
1	健康づくり教室	健康づくりのための健康教室の中で栄養講座や調理実習を実施する。	市民	保健推進課	「量ってダイエット100日作戦」事業の中で「減量のための食事」栄養講話・調理実習・食事調査を実施。 H29 全3回 参加人数54人 H30 【栄養講話】37人 【調理実習】27人 【食事調査】75人 R元 【栄養講話】32人 【調理実習】17人 【食事調査】73人 R2 参加者 63人	ダイエットに取り組むきっかけとして簡単に取り組み、参加しやすい内容だった。参加者の約半数が減量に成功できた。 課題 健康的に減量するためには食生活の改善を継続することが重要になるため、今後も内容を見直して実施する。	S	継続
2	栄養相談	若年期から健康づくりに取り組むきっかけとして、食事や栄養面についての個別相談を実施する。	市民	保健推進課	1回／月の健康相談で栄養相談希望者に栄養相談を実施。ほか電話や来所など随時栄養相談を実施。	利用者の不安の解消につながっている。	A	継続
3	おやじの料理教室	高齢者、とくに男性が在宅で自立した生活を送るために、料理教室を実施する。	市民	保健推進課 食生活改善推進協議会	「男の料理教室」を実施 H29 年4回、参加延べ人数86人 H30 年4回、参加延べ人数39人 R元 年4回、参加延べ人数44人 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	参加者のほとんどが独居ではなかったが、将来の万が一のために参加している人が多かった。今後も家庭で継続できる内容を検討し、来年度も進めていく。	A	今後は感染拡大の状況をみて開催
4	健診事後教室	健診の結果、生活習慣病等の疑いがあり、改善を目的とした教室の中で栄養講話と調理実習を実施する。	市民	保健推進課	栄養講義や運動を通して自らの生活習慣を見直し改善することを目的として、さらさら教室を実施 H29 6回1クール／年実施。参加延べ人数81人 H30 6回1クール／年 参加延べ人数81人 R元 4回3クール／年 参加延べ人数42人 R2 4回／年 参加延べ人数48人	健診後に、生活改善のための目標を立てて取り組むことで意識の改善につながっている。また、集団で取り組むことで他の参加者の行動を参考にすることができる。 課題 特定保健指導とのつながりを意識して対象者へ周知	S	継続
5	町内会等で栄養教室	町内会等からの依頼により、地域や対象者に合わせて栄養教室を実施する。	市民	保健推進課	町内会や各種団体より依頼を受け栄養講話を実施。	参加者の健康づくりや食生活の見直しにつながっている。	A	継続
6	食生活改善推進員養成・育成	地域の食のボランティアである食生活改善推進員を3年毎に養成し、食生活改善推進員の知識向上のための講演会や調理実習を行い活動を支援する。	市民	保健推進課	地域で食のボランティア活動をする食生活改善推進員を対象に再講習会を実施。 H29 全8回、参加者実人数22名 会員対象に再講習会を実施。全5回、参加延人数89名 H30 全4回（調理実習3回、運動実践1回）実施。参加延人数93名 R元 全4回（調理実習2回、栄養講話1回、運動実践1回）実施。参加延人数63名 R2 全3回（栄養講話3回）実施。参加延人数52名	再講習会を行うことで、会員の知識の向上が図られた。 課題 食生活改善推進員の会員数を維持していくため養成講座を定期的に実施していく。会員のスキルアップのための内容を充実する。	A	継続

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和２年度）

その他生涯を通じた食育の取り組み等

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和２年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
7	食生活改善推進員による料理教室	市民や会員対象の調理実習を実施する。	市民	食生活改善推進協議会	・会員対象に生涯骨太クッキングを実施 H29 1回／年、参加者17名 H30 1回／年、参加者17名 R元 1回／年、参加者20名 ・市民対象に石狩南高校で若者世代に向けた調理実習を実施 H29 1回／年、参加者32名 H30 1回／年、参加者32名 R2※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	調理実習を通して食の大切さや調理技術を学ぶよい機会となっている。	A	継続
8	「家庭ごみの出し方ガイド」の発行	「家庭ごみの出し方ガイド」の中で生ごみの減量・リサイクルについても説明する。出前講座を実施する。	市民	ごみ・リサイクル課	H29 H30年度版「家庭ごみの出し方ガイド」を作成 H30「家庭ごみの出し方ガイド」において、生ごみの処理方法や、4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の取組について掲載。また、4Rなどに関する出前講座を実施 R元、R2「家庭ごみの出し方ガイド」において、生ごみの処理方法やリデュース（排出抑制）等について掲載。また、町内会などの団体を対象に出前講座を実施し、食べ物は買いすぎず、ごみをなるべく出さないよう説明。（出前講座R2実績：3回）	全戸配布した「家庭ごみの出し方ガイド」への掲載並びに出前講座により、生ごみの減量・リサイクル等について一定程度の周知が図られた。	A	「3年保存版 家庭ごみの出し方ガイド(R2～4年度)」にごみの減量やリサイクル等について掲載済みであるほか、引き続き出前講座を実施
9	いしかり食と農の未来づくりフェスタ	市民が農業者とともに石狩の農業について考え、農業への理解関心を深めるようセミナーや交流会を実施する。	市民	農政課 商工労働観光課	R元 市内における地場産品の知名度向上及び販路拡大を目指し、市内の事業者が生産・製造・販売等を行っている商品力の強化に向けた地場産品魅力アップセミナーを実施した。 ※H29、H30、R2は未実施	食と農の未来づくり事業において、各種講座やPR事業を通して市民に農業や地産地消の普及が図られた。	A	食と農未来づくり推進事業の他の取り組み実施状況も勘案しながら、今後も必要に応じたセミナー・交流会の実施を検討
10	季節を楽しむ地産消講座	石狩の主要な農産物について栽培から栄養学、調理法まで学ぶ講座を実施する。	市民	食と農の未来づくり推進委員会 農政課	H29 5月～3月 10回の講座と検定試験を行い15名のエキスパートを養成 H30 5月～3月 10回の講座と検定試験を行い16名のエキスパートを養成 R元 6月～2月 いしかり農産物エキスパート事業に代わる新講座「季節を楽しむ地産消」を計9回実施。年間参加17名 参加延人数225名 R2 5月～2月 「季節を楽しむ地産消」を計12回実施。年間参加12名 参加延人数227名	受講者が地域農産物や地域農業を理解するだけでなく、地域農業への応援活動に参加するなど発展を見せている。	S	継続

石狩市食育推進計画施策評価（平成29年度～令和 2 年度）

その他生涯を通じた食育の取り組み等

取り組みの評価

S 期待された以上の成果を達成 A 期待された成果・効果を達成 B あまり成果・効果がえられず事業の改善が必要

No.	取組名	取組の概要	対象	実施機関	平成29年～令和 2 年度の取組実績	評価（課題）	取り組みの評価	次年度以降の取組予定
11	いしかり食と農のレッスン	石狩の農産物や農業への理解を深めるための講座を実施します。	市民	食と農の未来づくり推進委員会 農政課	農作業体験・食品加工体験などを中心に地域の団体と協力しながら講座を開催 H29 参加延人数 467名 H30 参加延人数 408名 R元 参加延人数295名（23講座） R 2 参加延人数206名（15講座）	課題 内容が固定化しており、新しいメニューの検討が必要。 評価 各講座とも一定の参加を得ており、市民のニーズにあった講座となっている。石狩の農産物や農業への理解を深めることができた。	S	継続
12	いしかり地産地消の店認証制度	地場農水産物を積極的に活用する飲酒店等を地産地消の店として認証し、地場農産物のPRや地産地消を推進します。	飲食店等 市民	商工労働観光課	・平成29年度は新たに3事業所を認定し、年度末時点42事業を登録。登録店をPRするガイドマップを作成し、配布(29年度は健康増進対策として地域農産物を使ったレシピ集なども織り込みながらPRを図った。登録店をバスで巡回するツアーを実施（参加者35名） ・平成30年度は新たに1事業所を認定し、年度末時点40事業を登録 ・令和元年度は新たに3事業所を認定し、年度末時点43事業所を登録 ・令和2年度は新たに2事業所を認定し、年度末時点45事業所を登録 ・食の情報誌を作成し、地産地消の店のPRを行った	課題 新規会員の掘り起こし。既登録店の認証基準の再確認。 市民の食に関する関心は高いので、登録店認証制度をうまく活用し、市内の農産物をPRすることが必要。 評価 地場農水産物のPR及び地産地消の推進を図った。	A	継続
13	食の情報発信	食に関する情報（食材、イベント、人材）を広報誌やHPなどに周知します。	市民	農政課 消費生活センター	ポスターの掲示、食育情報のHPへの掲載	課題 地域団体の活動も含め、一元的に情報発信できるよう内容の充実が必要。 評価 情報掲載により市民、企業への周知を図られた。	A	継続
14	関係団体との連携	食育を推進するためのネットワークを構築し、企業や関係団体との連携による食育を推進します。	市民	農政課	H29 市の各部局間連携を図ることが必要なため、庁内会議を設置した H30～R2 市の各部局間連携を図ることを優先し、ヒアリングを行った。	課題 各所管で実施している食育関連事業を総合的に把握し、各種関係機関とも共通の方向性をもった取り組み推進が必要。 評価 各部局での事業推進により、食育推進が図られた。	A	各機関と情報交換など図れるような体制づくりを検討

		現状値 (H28)	H33目標	H29	H30	R 1	R 2	R 3	備考	達成率 (R 2時点)
食習慣	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	91.60%	100%	小92.7% 中92.3%	小91.3% 中88.5%	小89.6% 中89.0%	小90.5% 中89.8%		全国学力・学習状況調査	90.2%
	栄養バランスに配慮した食生活を実践する家庭の割合									
	朝食 夕食	22.40% 74.10%	増加 増加							
食文化	朝食または夕食を誰かと一緒に食べる「共食」の割合	92.10%	100%							
	食を通じて郷土愛をはぐくむ取り組みが重要だと思う保護者の割合	49.60%	100%							
食環境	学校給食における地場産物等を使用する割合	53.70%	55.0%	52.8%	54.9%	56.5%	55.4%		学校給食センター	100.7%
	農林漁業体験を経験した子どもの割合	88.70%	増加							
	食を通じて郷土愛をはぐくむ取り組みが重要だと思う保護者の割合	49.60%	増加							